

ギヤハハ!!
次ハ……
コイツ等ト交尾!!
強制交配、愉シイ!!

ボ
ル
ッ
ク
ア
ア

ま、魔獣の
ペニス……ッ!?

く、臭い……ッ
それにこの大きさ……
こんなの挿入る訳が……

臭……

!?
……ッ!!



~~~~~ッ!!  
無理矢理、挿入れるつもりだわ…ッ

石のように硬い……そして熱いッ  
こんなの……

こんな凶器みたいな  
ペニス……

魔獣の足腰で力任せに  
挿入られたら……ッ

ただじゃ済まないッ!!

アト少シ!!  
モットカラ込メロ!!

早く、チンポ、ブチ込メ!!

……ッ  
ドッ ドッ  
ザクザク

ググッ

グッ グッ

ズッ

ズッ

ビクッ

……ッ……ッ……ッ





!!

ひぎっ!!

ッ

ッ

!!

グッ

ゴッ

ビッ

ズン!

~~~~~ツ

っ痛…ッ 嘘…ホントに挿入れられ…っ!?

お腹がッ

中から無理矢理…

押し上げられてッ!!

ぐ、苦しいッ……

それに、熱い…ッ

ペニスが脈打つ度に

腔内、子宮が……

灼けるように熱いッ!!

キヤハ、挿入ッタ!!

無様!! 無様!!

犯せ、犯せ!!

ブルブル

ブルブル

アッ…
うあ…う…ッ

アッ…

ピク…

ゴリッ…

ギチ!!

グリッ…
グリッ…

ギチィ…



ツ
ご…
オあッ!!
お、ほ…ッ
止め…ッ…
お…ッ!!

オ~~~~ッ!!?
ピストン
強……ッ!!
~~~~ッ  
ッ!……ッ!!



ホゴ

ホゴッ

고

和

クッ! / ム! /

A close-up of a hand holding a wooden staff, with stylized Japanese sound effects 'ガッ' and 'ガッ' overlaid.

パンチ



ぎひいっ!!

痛…ッ!?か、噛まれッ…  
爪ッ、立てんな…ッひぎ…!  
ぎゃああッ……やめで…ッ

イヤッ…舐められ…  
魔獣の舌で首筋なぞられてイクッ!

…は、激しッ!? …ハア…ッ  
ハアッ…ハ、ぎあ…ッ!?



トッポ  
トッポ  
トッポ!

トッポ  
トッポ

トッポ  
トッポ  
トッポ

……ッ!?

根本が……  
膨らんでッ

嫌……

く、来る……ッ

射精イヤッ……

嫌あああッ

ボゴッ  
ボゴッ  
ゴッ

グッ  
ボッ

トッポ  
トッポ  
トッポ

トッポ  
トッポ

トッポ  
トッポ

トッポ  
トッポ

ッひ……ぎイ……ッ





~~~~~♡~~~~~

魔獣の精液ッ
子宮に注がれて…

イカされッ…

くう……

トロへ…

……
こんな、下種な
責めに屈する
私じゃない、わ…

コイツマダ満足シテナイ！
勃タナクナル迄
モット犯セ！

ピクッ
メリッ

ハアッ…♡
ハアッ…♡

ハ…

ゴポッ
ゴポッ

ゾクッ
ゾクッ

づう……♡

フ…
フ…



魔獣の性欲は凄まじく

私はその後も、同じ個体に何度も、種付された……。

久し振りの交尾なのか、

それとも私がよほど魅力的なメスに見えているのか。

剥き出しの野生を激しく、ぶつけられ続けた。

そして、その個体がようやく大人しくなった頃、
ゾロゾロと魔獣の群れが私の元にやってきた。

何体いるのか……この姿勢では全容を把握できない。

魔獣の群れは、みな　グルル…　と唸りを上げながら
その大きな陰茎を怒張させている。

先程の個体と同じように、これから何体も、何回も…
野生の暴力そのものと言えるような魔獣の交尾を

この身で受け続けなければならないことが、
嫌でも分かった。理解してしまった。

……。

ラフム達は、魔獣の群れを次から次へと連れてくる。

「次ノ組ダ」 「モット連レテキタ」 「マダ居ルゾ」

私が嫌がると分かっているから、いちいち口に出して
その忌々しい声で伝えてくる。

気が遠くなるほど、それを繰り返した。

「次ノ組デ最後ダ」

それを喜ぶような余裕は、もう私には残っていない。

パッパッパッ
ドクドクドク

ドクッ

パッパッ
ドクドク

もう何体目か
わからないッ!!

ずっとお腹!
貫かれてッ!!

気絶しても
衝撃で意識
戻される...ッ

も、嫌アッ
ブルッ

ボゴッ
ボゴッ

ゴッ

グッ
ポッ

ひッ
ぎッ...!!
〜...ッ♡
ぎゅ...ッ♡
ど...ッ♡

ブルッ

ハッ
ハッ

パッパッ
ドクドク
ドクッ!

パッパッパッ
パッパッ

アト半日モスレバ
最初ニオ前ヲ犯シテタ
魔獣達ガ回復スル!

早くコノ組ヲ
「性処理」シテ
アゲナイト!

オ前ハチツトモ
休メナイゾ!!

嘘!!
嘘!!
嘘!!

い...嫌ア...ツ

ボゴッ
ボゴッ

ゴッ

グッ
ポッ

パッパッ
パッパッ

パッパッ
パッパッ

ハッハッ
ハッハッ



キヤハ！ギヤハハ！！
コノ魔獣ノ便所、無能！
モットニエ夫シロ！

くツ、この体勢で
どうやって…！

いや、コイツ等
始めから休ませる
気なんて…ツ

お…ツ
も…嫌……

ボゴッ

ボゴッ

ゴッ

グッポッ

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ



ギヤハハ!!
次ハ……
コイツ等ト交尾!!
強制交配、愉シイ!!

ボルッ

ムアッ

ま、魔獣の
ペニス……ッ!?

く、臭い……ッ
それにこの大きさ……
こんなの挿入る訳が……

臭……

!?
……ッ!!

ムッ
ムッ
ムッ



無理矢理、挿入するつもりだわ…ッ

石のように硬い……そして熱いッ
こんなの……

こんな凶器みたいな
ペニス……

魔獣の足腰で力任せに
挿入れられたら……ッ

ただじゃ済まないツ!!

アト少シ!!
モットカラ込メロ!!

早く、チンポ、ブチ込め!!

ググ

三子

74₁



ツ



!!

ひぎっ!!

~~~~~!!

~~~~~ッ

~~~~~ッ!!

!!

ブルッ

ブルッ

グッ

ゴッ

グッ

ズン!

~~~~~ツ

っ痛…ッ 嘘…ホントに挿入れられ…っ!?

お腹がッ
中から無理矢理…
押し上げられてッ!!

ぐ、苦しいッ……

それに、熱い…ッ

ペニスが脈打つ度に
腔内、子宮が……

灼けるように熱いッ!!

キヤハ、挿入ッタ!!
無様!!無様!!

犯せ、犯せ!!

ブルブル

ゴリユ…

ギチ!!

グリ
グリィ…

ギチィ…

カ…カ…

うあ…う…ッ

ピッ…



ツ
ご…
オあッ!!
お、ほ…ッ
止め…ッ…
お…ッ!!

!!
..
!
ツ

ピストン
強……ッ!!

オ
ー
ー
ッ
!!?

六三

米

五

天

クッパ!

A stylized illustration of a hand holding a pen, with large, bold, white Japanese text '19' and '4' on a purple background. The text is part of a larger graphic design, likely for a book or album cover. The background is a deep purple with some lighter, abstract shapes. The hand is in the upper left, holding a pen that points towards the center. The text '19' is on the left, and '4' is on the right, both in a very bold, almost calligraphic font. There are also some smaller, less distinct characters and symbols around them, including what looks like 'ン' and 'ッ' near the '19', and 'ユ' and '!' near the '4'. The overall style is graphic and modern.



アハハ



ぎひいっ!!

痛…ッ!?か、噛まれッ…
爪ッ、立てんな…ッひぎ…!
ぎゃああッ……やめで…ッ

イヤッ…舐められ…
魔獣の舌で首筋なぞられてイクッ!

…は、激しッ!? …ハア…ッ
ハアッ…ハ、ぎあ…ッ!?



パッパッパッ
ドクドクドク

ドクドク

パッパッ
ドクドク

……ッ!?

根本が……
膨らんでッ

嫌……

く、来る……ッ

射精イヤッ……

嫌あああッ

ホッゴッ
ホッゴッ
ゴッ

グッホッ

パッ

ッひ……ぎイ……ッ

ハッハッ
ハッハッ

パッパッ
ドクドク

ド
ム
ム

~~~~ツ!?  
あ、熱……ツ!!

ビュ  
ー  
ン

ゴ  
ー  
ン

ビュ  
ガ!

グ  
ル  
ル  
ル

…ッ  
♥!  
!?

ッ  
ッ  
ッ  
ッ

おッ…おお…  
♥  
ッ  
ッ  
ッ

ル  
ル



~~~~~♡~~~~~

魔獣の精液ッ
子宮に注がれて…

イカされッ…

くう……

ドロ

……
こんな、下種な
責めに屈する
私じゃない、わ…

コイツマダ満足シテナイ！
勃タナクナル迄
モット犯セ！

ハアッ…♡
ハアッ…♡

ピクッ
チリッ

ゴポッ
ゴポッ

うう……♡

ガクッ
ガクッ



魔獣の性欲は凄まじく

私はその後も、同じ個体に何度も、種付された……。

久し振りの交尾なのか、

それとも私がよほど魅力的なメスに見えているのか。

剥き出しの野生を激しく、ぶつけられ続けた。

そして、その個体がようやく大人しくなった頃、
ゾロゾロと魔獣の群れが私の元にやってきた。

何体いるのか……この姿勢では全容を把握できない。

魔獣の群れは、みな　グルル…　と唸りを上げながら
その大きな陰茎を怒張させている。

先程の個体と同じように、これから何体も、何回も…
野生の暴力そのものと言えるような魔獣の交尾を

この身で受け続けなければならないことが、
嫌でも分かった。理解してしまった。

……。

ラフム達は、魔獣の群れを次から次へと連れてくる。

「次ノ組ダ」 「モット連レテキタ」 「マダ居ルゾ」

私が嫌がると分かっているから、いちいち口に出して
その忌々しい声で伝えてくる。

気が遠くなるほど、それを繰り返した。

「次ノ組デ最後ダ」

それを喜ぶような余裕は、もう私には残っていない。

パッパッパッ
ドッパッ

ドッパッ

パッパッ
ドッパッ

もう何体目かわからないッ!!

ずっとお腹貫かれてッ!!

気絶しても衝撃で意識戻される...ッ

も、嫌アッ
ブルッ

ホッゴッ
ホッゴッ

ゴッ

グッポッ

ドッパッ
ドッパッ

ブルッ

ハッパッ
ハッパッ

ひッ
ぎッ...!!
〜...ッ♡
ぎゅゅ...ッ♡
どゅゅ...♡

トッパッ
トッパッ
トッパッ

アト半日モスレバ
最初ニオ前ヲ犯シテタ
魔獣達ガ回復スル!

早クコノ組ヲ
「性処理」シテ
アゲナイト!

オ前ハチツトモ
休メナイゾ!!

嘘!!
嘘!!
ツツ!!

ホッポッ
ホッポッ
ゴッ

グッポッ

トッパッ
トッパッ

トッパッ
トッパッ
トッパッ

トッパッ
トッパッ
トッパッ

ハッポッ
ハッポッ

アッ
い...嫌ア...ツ



キヤハ！ギヤハハ！！
コノ魔獣ノ便所、無能！
モットエ夫シロ！

くッ、この体勢で
どうやって…！

いや、コイツ等
始めから休ませる

気なんて…ッ

お…ッ

も…嫌……

イ
タ
ッ
ッ
ッ

パ
ン
ッ
ッ
ッ

パ
ン
ッ
ッ
ッ

パ
ン
ッ
ッ
ッ

グ
ッ
ッ
ッ

ゴ
ッ
ッ
ッ

ホ
ッ
ッ
ッ

ホ
ッ
ッ
ッ

パ
ン
ッ
ッ
ッ

パ
ン
ッ
ッ
ッ

ハ
ッ
ッ
ッ

ハ
ッ
ッ
ッ

